

## 場内道路の舗装を修理しました！

中央清掃センターの場内は様々な車両が往来しています。  
大型の車両や重量の重い車両が多い為、場内道路舗装が痛むことがあります。  
場内道路の舗装修理を実施しましたので、その様子をお知らせします。



補修箇所です。  
毎日ごみの搬入車両が通過するため  
表面のアスファルトが痛んでしまいました

表面だけの補修ではまた傷んでしまいます。  
そのため、表面のアスファルトだけではなく  
土を掘り、強固な地盤にします。



専用の機械を使って地面を締め固めています  
きちんと締め固めないと、また表面にヒビ  
が入ってしまうため、何度も締め固めます。



土だけでは強度が低いため、再生碎石(碎石)  
を敷き詰めて強度を高めます。  
※再生碎石は地球に優しいリサイクル材です※



再生碎石も同様に専用の機械で締め固めます。  
碎石は1層ではなく何層も作ります。  
層が多くなるとより強度が高くなります。

碎石締め固めが終わったら、いよいよ舗装です。  
アスファルトとの密着性をよくするため、乳剤  
というものを散布しています。



乳剤散布後にアスファルト合材を敷き詰めます  
アスファルト合材は110℃~140℃の高温状態  
で運ばれてきます。冷める前に施工します。

アスファルトの表面を締固め機で固めます。  
締固め後の表面温度はまだ90℃近くあります。  
割れや剥がれを防ぐため、十分締め固めます。



工事完了後の状態です。  
綺麗に舗装を直すことができました。  
翌日からまたごみ処理車両が通過できます。

### 【ポイント！】

中央清掃センターでは年間に6万トン近くの燃やすごみが搬入されます。

場内道路に破損があると、車両が傷ついたりすることがあります。

維持管理を実施している業者で補修できる場合は内部で簡易的に補修を実施する場合がありますが、今回のようなケースは専門業者に補修工事を依頼することもあります。

ご来場される皆様にご迷惑が掛からないよう、日々努力しています。